



The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

2007 4

Bulletin

2007. 4. 1. 発行
第24巻 第10号 通巻285号

(CLUB OFFICE)
京都 Y M C A
〒614-8501 京都市伏見区西九条二丁目1番1号
TEL (075) 231-4388

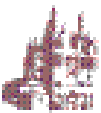
THE SWITZERLAND CLUB OF THE Y.M.C.A.
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

CHARTERED 28 Sep. 1903

クラブ主題 の関係! — 横並びの「和・輪・環」 —

国際主題	「愛をもって積極参加」	"Active Participation with Love"	IF 大門和彦 (韓国)	会 長 / 大門 和彦 副会長 / 堀 本 純 夫 専 員 一 書 記 / 山 田 英 樹 会 士 / 香 山 章 尚
アジア主題	「参画、そして感動を!」	"Participant and Inspiration"	AF 堀本純夫 (韓国)	
西日本区主題	「一人はみんなのために、みんなは一人のために」	"One for all, all for one"	RD 堀本純夫 (韓国)	
京都府主題	「百花繚乱 一京都部一」		OG 土橋 隆二 (京都府)	
イベント主題	「ファミリーで参加しよう アイスダム 世界の愛が見えてくる」		530 400 祥子 (大阪府)	



聖句 あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあってその永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみのあとで完全にし、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。
(ペテロの手紙1 5章10節)



心の交わり

ドライバー委員長 勝山廣一郎

今期、大門会長の主題『との関係 - 横並びの - 「和・輪・環」を基に、活動方針には例会運営の創意工夫(讃美歌の斉唱、英語によるワイズソング斉唱等々)と、変化ある例会が行なわれ、今期(年24回の例会内訳(通常例会15回、総会、半期総会、特別例会7回))に、いくつかの柱を計画しました。

その一つは、各事業委員会(EMC、交流、地域奉仕、Yサ)主催によるプログラムを企画、運営を依頼致した事です。

次に、新入会者によるメンバースピーチ(幡南進さん、森繁樹さん)では、各自の体験話を交えた自己紹介、次期会長山田隆之さんによる木々の生態系のお話で締めくくって頂きました。

又、メンバー各位から、多数のゲストスピーカー(講師)を紹介して頂き、例会運営が円滑に進行しています(講演内容は各号プリテンに記載)。これも、ドライバー各委員および、メンバー各位のご協力の賜物だと感謝しています。

例会の必要性とは 企業経験の異なったメンバーが、2週間に一度、例会に出席する。その重要な事は、まず奉仕の心を持ち、世俗の憂いを忘れ、ちがった発想と接し、心の交わりを作る場

あり、自分自身を省みる場でもあります。

親睦とは なんらかの関係にある人達が仲良くするために仕事や宣伝などを抜きにして飲食など共にすること、とあります。

ドライバー委員会とは 例会や、その他の会合で、司会進行や、ゲストスピーカーの招請、種々の計画、アイデアにより、会員間の親睦を計るとあります。

以上述べましたことを、基本的に、新しいメンバーによる総合司会の担当を依頼し、つぎに繋げるドライバー委員として活躍していただくよう期待しています。

聖句の解説 神様は、私たちが強くするために、人生の困難を用いられることがあります。困難を経験することによって、私たちは他の人を思いやることを学びます。見方を変えるなら、この苦しみの時は、多くの貴重な事柄を学ぶ機会となります。そして、以前よりも強くなった自分に気づくはずで。また、苦しんでいる人の痛みがわかるようになります。そして、このような人たを助けることができるようになりますのです。

見方を変えるなら.....

西日本区 4月 YMCAサービス 強調月間 ASF

私達が支援している YMCA に、新しい息吹を注ぎましょう。Y's が呼びかけて、クラブメンバー・YMCA 役員・YMCA スタッフが心を開いて話し合しましょう。そして、具体的な方向を見出しましょう。 橋崎良治 Yサ・ユース事業主任

3 月 報 告	 例会出席	 即ポイント	 ニコニコ	 フォンド	 献血	 125周年
	在籍者数 30名	切手 0g	第一例会 11,000円	その他 22,550円	献血 800cc	第一例会 3,613円
	第一例会 24名	現金 0円	第二例会 22,000円		成分 1名	第二例会 2,258円
	ゲスト 1名	累計切手 11,244g	累 計 183,000円	累 計 756,286円	累 計 0cc	累 計 110,675円
	第二例会 21名	累計現金 0円			成分累計 800名	
出席率 90%	J W F 10,000円					
	JWF累計 20,000円					
	F F累計 0円					

出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手収集

3月第一例会

メンバースピーチ例会

— 貴重な話が聞ける「時」を大切にしたい —

吉井 崇人

東京八王子クラブの奈良昭彦さん（1999年～2000年度アジア地域会長）がゲストとして出席されました。

山田書記から堀さんの病の事が告げられ正直驚きましたし悲しかったです。幸い状態の方が良いとの事でしたので、ゆっくり、しっかり体調を整えて下さい。

メンバースピーチは、僕自身がスピーチさせて頂いたのがちょうど1年前。1年前の記憶が蘇り変な汗が出ました。

トップは、幡南進さん。土建屋の社長になる！という夢を

2007年3月6日(火)

於 ウェスティン都ホテル京都

持ち、それを実現されたお話。高校野球をされていて、夏の最後の予選を大門会長のチームに負けて引退したというお話。

2番は、森繁樹さん。生まれてから、現在までの年表。何故か、笑ってしまう楽しいスピーチ。

3番は、山田隆之さん。沢山の木の種類と温暖化により、いま日本が置かれている状況。

皆さんのスピーチを聞いて、自分がまったく知らなかった知識…。自分の知らなかった世界…。それぞれの人が感じてきた時間…。

こんなに貴重な話を聞けるクラブの時間を改めて貴重な時間だと思いました。

大事にしていかないと…。そんな風に感じた例会でした。

3月第二例会

地球温暖化の実態

森 繁樹

大門会長が欠席のため、瀬本副会長による開会点鐘と緊張のなかにも会長代理として、しっかり落ち着いた話し口調で身の引締まる挨拶が行われました。

その後講演では『京都地方気象の過去、現在、未来そして地球温暖化について』のテーマで、堀之内荘二京都地方気象台防災業務課長にお話をいただきました。日頃バイクで移動している私としては天候にすごく敏感で、毎日天気予報が気になるところですが、気象庁には感謝するところです。

気象庁では、大気中の温室ガスの増加による地球温暖化問題への対応として、スーパーコンピュータを用いて将来予測のための気候モデルの開発、研究をされているということで、大変

2007年3月20日(火)

於 ウェスティン都ホテル京都

興味のあるところです。「地域気候モデル」による100年後との比較では、平均気温が2～3程度上昇する。熱帯夜日数や真夏日数は増加する。とあり大の汗かきの私としては大変つらい限りですが、100年後は生きていないですね。

「地球温暖化」については子供たちの将来のためにも皆さんに是非興味を持ってもらいたいところです。

その後、ニコニコ、YMCAの歌を経て、瀬本副会長の力強い開会点鐘で閉会となりました。たいへん有意義な3月第2例会でした。



彦根シャトークラブ25周年記念祝会

岡本 尚男

3月4日(日)彦根プリンスホテルで開催された。当日は快晴に恵まれ、心地よい陽射しが燦爛と降り注いでいた。少し早い目に彦根駅に着いたので、散歩がてら会場まで約1時間のウォーキングを楽しんだ。

180名の参加者で会場は華やいでいた。DBCの伊東クラブをはじめ、9名のYMCAリーダー、西日本区から21クラブ、彦根市長はじめ滋賀YMCA理事長、総主事、森本西日本区理事、石倉地域奉仕事業主任なども駆けつけていた。

周年記念として風の谷キャンプ場に、長浜クラブとの共同事業として管理棟一棟を滋賀YMCAに寄贈し、敷地を提供した多賀町藤瀬区長には感謝状が贈呈された。

記念講演は、第一次イラク復興支援先遣隊長で「ヒゲの隊長」といわれた佐藤正久氏による「日本における国際協力」というテーマで、映像を交えての講演であった。一人の死傷者、一発の銃弾も発射せずに地域に相応しい国際貢献をどのようにして進めていったかという、体験に基づいた生々しい話は説得力のあるものであった。リーダーシップの大切さ、リーダーの使命、志の高さ、地域住民との信頼関係を結ぶための、郷にいれば郷に従えの諺そのままの、身を挺した活動が、やがて地域住民の信頼を獲得し所期の目的を果たしたことが、熱く語られた。

その後、懇親会があり親睦と交流がはかられ19時に「今日の日はさようなら」の合唱で、それぞれの思い出を紡いで閉会となった。

「京都 YMCA 2006年度卒業リーダー祝会」

純粋なリーダーたち

大門 和彦

京都 YMCA リーダー卒業祝会に初めて参加しました。厳かな雰囲気の中の「礼拝式」は着慣れないスーツ姿のリーダーや振袖姿のリーダーも…。初々しさが素直に伝わり、参列した関係者や後輩までもが、心地よい空気に触れられたように思います。

門脇光禅牧師による「ルカによる福音書第10章」の聖書朗読では、現代社会に生きる我々大人が忘れかけていることを思い出させていただいたように感じました。

祝会でも卒業リーダーの後輩達による手作りのパーティーがまた、会場を微笑しくさせていました。一緒に参加した山田書記と顔を見合わせながら「こんな、リーダー達を社員にほしい」と本気で話をしていただいほど「YMCAのリーダー」は純粋で素晴らしいと思います。

社会に出ても変わることなく素晴らしい大人になってもらいたいと思います。



人生の名シーン

5%の喜び

八木 悠祐

人生の名シーンというにはあまりにもちっぽけな話かもしれませんが、私にとっては今の仕事を頑張ってやっていこうと決意した瞬間でした。

私は大学卒業後、家業を継ぐための修行としてコピー機のメーカーに3年ほど勤めておりました。そこでは、ソフトウェア部門の販売促進マーケティングの仕事が主体でした。そんな私が今の会社に帰り、文具・事務機・スチールの受注から納品まで1日中走り回り、考える間もないうちに1日が終わっていくという今の仕事に満足できていませんでした。ご存知のように飽和市場ですので、良い提案をしても最終的には合見積もりで薄利というのがパターンです。

そんな中、飛び込みで入った不動産会社様に書庫を1台入れていただきました。もちろん値段も本当に厳しい価格ものでした。しかしながら少しずついろいろな部署を紹介いただきながら、専務様と直接商談ができるようになりました。その専務はとても難しい方で、すぐに来い・早くレイアウトしろ・納期を間に合わせる・安くしろのオンパレードでした。私も必死で食らい付いていましたが、「もうお付き合いできません」と何度言いかけたか分かりません。

ある時そんな専務から、「すぐ来て」といわれ少し憂鬱になりながら行くと、商談カウンター1台の見積もり依頼でした。特注使用のカウンター1台をメーカーに作らせ、木目の色合いを変えたりと、短納期中での大変な作業でした。メーカーのミスもあり、出入り禁止になるようなピンチもありましたが試行錯誤を繰り返し、何とかOKをいただきました。そしていただいた注文が全国20店舗の備品・什器・事務機の注文でした。その時「ブツヤケなんぼ利益のせてるん？」と聞かれ、私も正直に答えました。すると「そんな利益ではいい仕事はできひん。八木ちゃん頑張ってくれたから、あと5%乗せて見積もり出し直しーな」といわれました。

私はその瞬間自分の耳を疑い、気が付くと涙が流れてとまりませんでした。「怒ってへんに泣いたやつ初めてやで!!」とまわりの皆さんに笑われましたが、私には本当に大きな名シーンでした。これからも誠意を込めて仕事をし、名シーンをたくさん作って行きたいと思います。

そのお客様には今でも商売の辛さ・難しさ・喜び・楽しさいろいろなものを教えていただいております…。

プールに飛び込んだ!!

山田 隆之

私は野球少年で低学年のころから日曜日になると、朝から晩まで白球を追いかけていました。小学生の時に所属していたチームは当時としては珍しく硬式球を使うチームで、当時としてはかなり本格的に野球を教えられました。

そのチームの監督、コーチは野球が嫌いになるほど怖く、怯えながら練習、試合に臨んでいました。試合に負けると"殴る蹴る"の暴行を受け、軍隊のような生活でした(ちなみに大門会長もチームメイトです)。

中学になるとそのチームと別れ、楽しい野球生活を送るため、新しいチームに入りました。そのチームは一転"のびのび野球"で思う存分プレーをすることができました。

中学三年の最後の大会で決勝戦まで勝ち進む事ができ、最終回まで一点差で勝っていました。守りきれば"優勝"と逸る気持ちを抑えながら守備についていましたがフォアボール、エラーが続きツーアウト二・三塁の大ピンチ! 次のバッターが放った打球はレフトへのイージーなフライ、これで勝ったと思いましたがレフトのグラブに一度収まったボールが静かにグラウンドに落ち、ついに逆転!(ちなみにレフトは岡村さん)。

最後の攻撃を迎えツーアウト満塁で4番の私に打順が回ってきました。監督が各ランナーに「リードはするな山田に任そう!」と声をかけ、静まりかえったグラウンドでピッチャーが投じた白球は次の瞬間にプールに飛び込んでいました。

そして今がある…。

山口 弘子

1988年6月、私は代表取締役社長となった。

当時資本金480万円の零細企業だが、会社・社員・家族が私の細腕にずしりと重かった。

創業の主人が、6月に旅立ったからだ。

結婚して以来、家事と子育てとその間に仕事を手伝っていた。

やがて子供たちも大きくなり、私の母も居てくれたので、仕事の時間が次第に増えていった。

その間、主人はキャピタルクラブに入会し、YMCAにも積極的にかかわっていた。

とある時に主人は発病して、検査入院そして1年半が過ぎ旅立った。

当時、洛西にすんでいたため、用事を済ませてマイカー通勤で、私の生活は、一変した。

中小企業家同友会に入会して、商売の勉強をし、キャピタルクラブにも入会させて頂いた。今から20年程前の事である。

私もまだ若く、仕事・家事・同友会・クラブそしてクラブから国際大会・日本区大会にと、主人が後押ししてくれている様で頑張れた。

今思うとそれぞれの場で、多くの方々に助けて頂いた。また、息子夫婦達・孫達、そしていま100歳の母が居て、今の私があるように思う。

今、会社も社名を変え、私も会長となって次の世代へと引き継がれています。

遠征のススム

— 大阪なかのしま・大阪センテニアルクラブ訪問記 —

書記 山田 英樹

キャピタルクラブに入会してもう少しで3年が過ぎます。目の前にやってきた問題を、せっせ、せっせと片付けていただけの日々でしたが、最近なんとなく、少しずつではあります『仕組み』がわかりだしたように思います。

やはり大きなきっかけは今期の書記の役目なのかもしれません。

なんせ、心構えができていなかった。徐々にたまっていく用事に悲鳴を上げていた初めの頃でした。

『せっかくだから周りにも目を向けて...』

大先輩にお言葉をいただいたのは、開き直って気が楽になりだした最近の事です。

『三役が対外のお祝いなんかに行かないのはちょっとなあ...、こっちのお祝いにも来て貰ったし』なるほど、そりゃそうだ。

そんな感じで、なかのしまクラブのお祝いの会と大阪センテニアルクラブの利酒例会に参加してきました。

2007年2月12日、午前11 00

グランヴィアホテル大阪でなかのしまクラブ10周年記念祝会が開かれました。キャピタルクラブからの参加メンバーは石倉さん、岡本さん、岡本都さん、仁科節子さん、柳早知子さん、村田さんと私の総勢7名。

女性陣の参加が多いことを不思議に思っていたのですが、全国初の女性だけのクラブだそうです(またひとつ勉強になりました)。

4月にお迎えする予定の東京クラブからもたくさんの方が参加されており、もちろん京都部からもたくさんの方が見知った方がいらっやりました。

祝会に参加していて感じたのですが、なかのしまクラブはかなり注目度の高い人気クラブなのかもしれません。クラブの規模に対してのお客様の数、またお越しになっている方々の雰囲気等からの感想です。『元気に楽しんでおられる』、その表現が適切かどうかはさておいても、そういう雰囲気なんです。クラブのカラーというのは不思議だなあ、とつくづく感じました。

2007年2月17日、午後13 00

阪神電車西ノ宮駅で待ち合わせ、センテニアルクラブの新酒利酒社会見学&例会に参加してきました。キャピタルクラブからは岡本さんと、私の参加です。

第一部は灘の清酒、「白鹿」の辰馬本家酒造株式会社工場見学へ。

簡単なオリエンテーションの後、^{コメット}菰樽作りの実演や様々な製造過程の工場内見学、大震災当時のご苦労の話や、灘の清酒の歴史に関してなど本当に様々なプログラムで時間のたつのもあっという間です。

最後にお楽しみの利酒会開催。結果は残念ながら中途半端な3問中1問正解。結構自信たっぷりだっただけに、うーん残念。

第二部は西宮市民会館のホールへ移動してお弁当で食事のあとに例会の開催です。程よくコンパクトにまとまっており皆さんとの距離感も絶妙でした(キャピタルクラブでの役員会のような感じ)。

両クラブの行事に参加しての共通の感想は強いクリスチャンティーとでもいうのでしょうか? ワイズソングの斉唱、お祈りや、食前の感謝など折に触れその信仰心の深さを感じました。キャピタルクラブは総主事を含めても3名のクリスチャンのメンバーということでクリスチャン色が他のクラブに比べて薄いとは思いますが、京都部以外のワイズメンズクラブに特にその傾向が強いように感じました。

案ずるより生むが易しで、『知らない人ばかりだし...』という不安があったとしてもまったく関係ありませんでした。当然のことのように皆さん暖かく迎えてくださいますし、色々気遣いながら話しかけてくださいます。

特に入会してまだ日の浅いメンバーは(私を含めて) どん

どん遠征に出て行ってみれば! と感じた次第です。そうすればまた違った何かが発見できるのではないのでしょうか?

そしてクラブ以外のワイズメンとの交流を深めていったときに、初めて『我がキャピタルクラブ』の事が理解できるのではないのでしょうか?

HAPPY BIRTHDAY

メンバー

橋本 眞一	4. 3	石村 吉宏	4. 6
森 常夫	4. 25		

メネット

幡南 陽子	4. 9	山田まゆみ	4. 18
岡島 智子	4. 30		

コメット

石倉 周	4.	香山 耀平	4. 28
------	----	-------	-------

HAPPY ANNIVERSARY

石村 吉宏・しのぶ	ご夫妻	4. 3
内廣 健・嘉子	ご夫妻	4. 14
橋本 眞一・佐恵子	ご夫妻	4. 17
堀 一行・明美	ご夫妻	4. 30

4月・5月予定抄

4月7日(土)	東京クラブDBC交流昼食会	11:00
4月8日(日)	東京クラブDBC歓送昼食会	11:45
4月21日(土)	チャリティーコンサート	18:00
4月22日(日)	リトセン夜桜フェスタ	17:00
5月20日(日)	インターナショナルチャリティーラン	

第13回 役員会議事録

2007年3月27日(火)19 00~21 00
ウエスティン都ホテル京都 竹の間

<報告事項>

京都部

- 5月18日(金) 現・次期メネット会長・連絡員会

三役

- 4月7日(土) 花見例会、DBC 例会、メネット招待例会

- 5月10日(木) CATT 合同例会

京都ガーデンパレスホテル 19:00~21:00

メンバーゲスト ¥7,000 メネット・コメット ¥6,000

<各事業委員会報告>

Yサ・ユース

- チャリティーコンサート、Yサアワー、夜桜、チャリティーラン

地域奉仕

- CS、FFポイント、献血の呼びかけ、新サポート先の件

ドライバー

- 月例会予定、DBC花見例会のプログラムに関して

広報ブリテン

- 4月号予定

ファン

- B F 切手回収の件、DBC合同例会物販、日帰り温泉企画

交流

- 東京クラブDBCに関して

E M C

- 西日本区集計と例会出席状況、プラス1例会の検討

メネット

- 1月~3月の事業報告

<審議事項>

- 堀さんの件 休会? 広義会員?

- 継続審議

- 東京クラブ DBC の件、交流委員会のレジメを軸に進行する件 承認

- 東京クラブ負担金額 ¥10,000(宿泊費除く)で不足額を交流委員会で負担する件 承認

2月号に第11回役員会議事録となりました。第12回に訂正します。申し訳ありません。

